

## Charles Goodyear 物語2

Charles Goodyearは、何らかの方法でゴムを改良できると信じていた。彼は、宗教や他の興味を一切捨て、ゴムに様々な添加物を加え化学的に変化させてゴムを改良することに没頭した。

1838年、Charlesは、日光にあてたゴムと硫黄の混合材料が、大幅にべと着きを改善することを発見したNathanael Haywardに出会った。Charlesは、無学なHaywardのために特許申請書を書き、200ドルで特許を獲得し、Haywardを雇い入れた。そのとき、Charlesは、硝酸で洗浄したゴムが同じような効果をもつことを発見した。これが探し求めているプロセスであると考え、硝酸液槽がゴムのシート全体にわたって化学変化すると信じた。

義兄の援助で、Charles Goodyearは、Massachusetts, Woburnで実業界に入った。彼は、ゴム靴やゴム織物の工場近くのMontvale Avenueに家を借りた。最初、ビジネスは好調であった。1838年、Charles Goodyearは硝酸工程法により賞を授与され、一人でゴムの長所広報活動を始めた。彼は、ゴムのおもちゃ、ゴム布、薄いオーバーシューズや傘を作った。彼は、ゴムのスーツを身に着けた。また、彼は、Henry Clay<sup>1)</sup>やAndrew Jackson 大統領<sup>2)</sup>にゴムに文字を刻み込んだ手紙を送った。そして精力的に、薄いゴム織物を作って販売した。最初の時期、Charles Goodyearは成功したが、繁栄は、つかの間であった。

Charles Goodyearは、150の郵便袋を製作するという政府の契約を獲得した。完成した郵便袋は、配達の日までWoburn工場にぶら下げられていた。ある晩、ニューヨークの仕事から帰ったCharles Goodyearは、工場を見回り、そしてフックにぶら下げられ、床に足れさがった150の織物を見つけた。ゴムは、夏の暑さに持ちこたえられなかった。返品が相次ぎ、その後、すぐに工場は閉鎖された。

- 1) Henry Clay◆米国. 男. 1849-1919. 石炭や鉄鋼で財をなした実業家. 鉄鋼企業家 Andrew Carnegie と組むが後に確執を起す. 美術品収集家
- 2) Andrew Jackson◆米国第7代大統領(在任1829-37). 若い時には孤児, 英軍捕虜時代を送る. 競馬・闘鶏に夢中. 南部で活動. ネイティブ・アメリカン(アメリカ・インディアン)制圧, 退役英軍との戦争など戦う

## 参 考 文 献

1 : THE LEGEND OF GOODYEAR THE FIRST 100 YEARS by Jeffrey L. Rodengen

2 : アイザックア・シモフの科学と発見の年表

(財)日本自動車研究所 山崎 俊一)



Goodyearの像

\*

\*

\*

\*

\*